

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣養老高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和7年6月17日(火) 14:00～15:00
- 3 開催場所 大垣養老高等学校 会議室
- 4 参加者

会 長	林 新太郎	本校同窓会長
副会長	無藤 泰広	保護者(本校 PTA 会長)
委 員	浅野 三恵子	地域の住民
	清水 由美子	養老町議会議員
	西脇 泰一	特別養護老人ホーム「白鶴荘」施設長
	江口 美智子	女性農業経営アドバイザー
	宇納 光好	藤井ハウス産業(株) 総務部長
学 校 側	西脇 勝己	校長
	伊藤 由美子	事務部長
	小野 卓也	教頭
	野崎 孝明	教頭
	高崎 博之	教務主任
	戸田 京介	生徒指導部長
	水谷 孝彦	進路指導主事
	大野 宏	総合学科部長
	大石 真一	農場長
	桂川 法生	寮務部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 第4次岐阜県教育振興基本計画について

(2) 学校運営の基本方針等について

- ・教育目標と学校運営方針
- ・教育指導の重点及び学校経営計画
- ・学校組織編制(校務分掌、HR担任等)
- ・年間行事予定等

(3) 意見交流

意見1：少子化の波の中、5年後、10年後のことを考えると非常に悩ましい。学校だけで解決できるものではないが、何とか生き残りができる方法を。

意見2：例えば、総合学科の生活福祉系列で保育関係の学習をしているように、高校時からやや専門的な学習に触れることが、生徒の選択肢を広げることに繋がっていると思うので続けてもらいたい。

意見3：地域に学校がなくなると地域を活性化するものがなくなるので、是非残してもらいたい。そのために協力できることは協力したい。

意見4：少子高齢化の波の中、高校が生き残っていくためには、スリム化せざるを得ない。「中高一貫」ということも検討する必要があるのかも。

意見5：「若い人がすぐやめてしまう」という声を最近よく聞く。これからの日本を背負っていく若い人達の心を育てる教育をお願いしたい。

意見6：農業科は広大な敷地を活かしながら、命を生み、命を育み、命を繋ぐことを通して「命の尊さ」を学べる学校だと思う。

意見7：農業科と総合学科が併設していることを活かして、互いに足りないところを補い合い、良い点を伸ばしていってもらいたい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の教育指導の重点及び学校経営計画について承認が得られた。

意見交換では、少子高齢化の波の中での本校の存在価値や存在意義などについて委員の皆様から温かいご意見を戴き、改めて学校に対する期待を感じた。さらに魅力ある学校づくりを推進していきたい。